

PICTORIAL  
WRITINGS  
OF  
WORLD



世  
界  
商  
標  
•  
標  
識

**PICTORIAL WRITINGS OF WORLD**

**世界商標・標誌**

出 版 者：龍和出版有限公司  
發 行 人：林 禮 祥  
地 址：中和市中山路二段103號  
電 話：(02)248-7116、248-0415  
劃 搬：07441423林禮祥帳戶  
出版登記證：局版台業字第3654號  
製 版：興旺彩色製版公司  
印 刷：申全盛印刷公司  
出版日期：八十年三月

**PICTORIAL WRITINGS OF WORLD**

**世界商標・標誌**



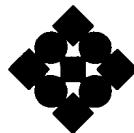
JAPAN

# PICTORIAL WRITINGS OF WORLD

1970-84

# 世界商標・標誌

桑山弥三郎 編



人と動植物など	1780点
乗物と道具など	980点
記号と文字	540点
セット絵文字	147点
作品使用例カラー	115点
作品使用例モノクロ	48点
総数	3610点

## 目 次

本書の絵文字使用について	2
凡例	6
応募してくださったすべての皆さんに感謝しています！	7
分類と配例	8
作品データー	9
絵文字の範囲とその表現	10
作家と作品	12
意味さくいん	15
モノクロ 絵文字使用例	17~32
カラー 絵文字使用例	33~64
第1章人と動植物	65
男	67
女	73
子供	76
行動する人	78
働く人	84
スポーツする人	87
男女	95
人たち	97
顔	103
目・耳	112
口・鼻	114
手足	116
内臓	124
動物 I	126
動物 II(空想動物)	137
鳥	157
魚	164
虫	170
花・木	172
実	176
天体	181
山・地	184
火	186
水	188

<b>第2章 乗物と道具</b>	191	<b>公園(動物園／広場／リゾート)</b>	351
乗物	193	催物(体育大会／展覧会)	359
建物	201	ホテル(マーケット／ビル／銀行)	371
器	205	文書(図書／教材／出版物)	384
道具 I(身近な)	214	芸術	411
道具 II(運ぶ)	222	生活(用品／ペット／食品／ゲーム)	412
道具 III(スポーツ／楽器など)	226	広告(新聞／テレビ／電柱)	426
精密機	230	あとがき	429
通信	232	次回(1980-87)のお知らせ	430
設備	237		
電気	240		
音響・映像	244		
医療	246		
文具	248		
たばこ・商品	252		
生活	254		
<b>モノクロ 絵文字使用例</b>	262		
<b>第3章 記号と文字</b>	263		
矢印 I	265		
矢印 II(2本から)	272		
ハート	275		
十字	277		
直線	278		
曲線	284		
数字	290		
ローマ字	294		
漢字	299		
<b>モノクロ 絵文字使用例</b>	304		
<b>第4章 セット絵文字</b>	305		
交通(空港／時刻表／地図)	307		
運送・通信	324		
学校(研究所／図書館／博物館)	328		
医療(病院／薬品)	334		
会社(工場)	343		
機械	351		

#### 凡例

絵文字、テキスト(T)のデーターは下記の内容を表わす。

- 1)…業種
- 2)…アートディレクター
- 3)…デザイナー
- 4)…クライアント
- 5)…制作年(制作地)
- 6)…色

→…参照作品

カラー(C),モノクロ(M)ページ

業種/クライアント

AD…アートディレクター

D…デザイナー/制作年

→…参照作品

応募してくださったすべての皆さんに感謝しています！

絵文字は「絵ことば」、「絵表示」、「ピクトグラム」と同類の意味であるが、よく「アイソタイプ」、「サイン」などと呼ばれることがある。アイソタイプはオーストラリアのオットー・ノイラートが創案した絵文字の範囲にとどめたいし、サインは色や文字や音や動作なども含まれその一部にすぎない。絵文字は主には意味を絵によって伝える一方法で視覚言語の一つである。文字や色や音などよりも絵の方が効果的の時に採用され、文字や色などと共に用いられることが多い。形はマークやシンボルや単純化されたイラストレイションと似ていても使われ方によって違ってくる。どのように違うかはこれからの課題であろう。

マーク・シンボル(1巻)とロゴタイプ(2巻)に比べ応募作品はかなり少ない。これは世界で絵文字が作られている数が前者に比べて少ないと。また「絵文字」という言葉がデザイン界においても定着していない、応募内容が完全に伝わらなかつたこともあるだろう。また現代の絵文字の再出発点は東京オリンピックからだとも言われるよう日本人のもつ絵文字に対する情熱が海外ではそれほどでもないかも知れない。例えば道路標識の絵文字は「絵文字」の中でも最も一般的なものになっているが、ヨーロッパから出発して、日本も同調した。だがアメリカでは道路標識は文字が主体であることには変りがない。それでも徐々にアメリカの国内に絵文字が浸透し始めている様子を今年見ることができた。オリンピックにおいては引き継がれている絵文字も全世界的にみればその普及や採用はゆっくりした速度で進んでいるのではないだろうか。絵文字の応募がなかった国が多かったことが、それを語っているようだ。

12年前に編集したものに比べ絵文字はずいぶん多様化した。以前は国家的儀物や道路標識など公的なものが主体であったが、今回は会社やリゾート施設や図書など私的なものが主体になっている。表現方法はより複雑でカラーフルで楽しいものが多い。その反面、形に対する追求はあまりなく、マーク・シンボルの造形に比べると完成度の点でもう一歩という作品もあった。

この本の編集者としての特権を皆さんから与えられたことを喜び、応募してくださったすべての皆さんに感謝しています！

#### 応募者数と作品点数

83-11-28現在

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	計			
国名	日	ア	西	カ	イ	ス	イ	フ	オ	ス	メ	ユ	ポ	ベ	フ	チ	ス	オ	ベ	ハイ	ア	ブ	ブ	コ	デ	ノ	ト	イ	ア	ニ	ホ	ブ	イ	台	韓	東						
	メド	タ	ギラ	ラ	ペ	キ	ゴ	ー	ー	イ	エ	ー	ネン	スル	ル	ロ	ン	ル	イ	ユ	ン	イ	エ	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ド								
	リ	イ	ナ	リ	リ	ン	ン	イ	シ	ラ	ラン	ギ	ラ	ハ	デ	リ	エ	リ	エ	ジ	リ	ビ	ー	エ	ー	ラ	ー	コ	ー	リ	ー	ト	ー	ラ								
	本	カ	ツ	ダ	ア	ス	ス	ス	タ	ン	コ	ア	ド	ー	ド	ア	ン	ア	ラ	ー	ル	ン	ル	ア	ア	ク	ー	コ	ド	ー	ド	ー	ン	ン	コ	ン	湾	国	ツ			
発送数	3,020	1,045	243	135	113	106	99	83	65	33	30	24	22	20	19	18	18	17	16	14	13	12	12	12	10	10	8	7	6	4	4	3	3	2	1	1	2	4	5,242			
返却数	205	145	6	32	6	20	20	11	7	1	1	8			1	2	3	1		1	1															477						
応募数	249	112	33	15	30	11	16	9	8	29	13	8	6	2	4	4	4	2	4	6	3	3	9	4	2	2	2	1	6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	608			
点数	1,158	19	311	0	23	22	0	18	7	0	68	24	0	0	0	37	0	0	0	42	27	86	252	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,015

\*応募数は封筒の数を表わし応募人数ではない。

\*使用例の点数は含まれていない。

## 分類と配列

本書の最大の特徴は形態別に分類し配列していることであろう。絵文字は使用目的、内容、制作者の個性や感覚によりさまざまな形態や表現方法をとる。その形態を辞典のように誰にも引きやすい判りやすい方法にすることを目標に分類と配列を試みた。絵文字は絵をモチーフにした具象形とすでに使われている記号や文字を借用した形、具象形になりづらい抽象形に分けることができる。形はマーク・シンボルとも類似しているので1巻ともできるだけ共通させるようにした。具象形のうち人と動植物と自然物を第1章に。人工造形物である乗物や道具などを2章に。記号と文字と抽象形を3章に。絵文字の多くは複数のセットとして制作されるが、5点以上でセットになっているものを4章に分類した。同モチーフのものは単純なものから複雑なもの、その形に別の形が加わったものと配列した。各章の細分類の説明は次に記す。

**男**：トイレや更衣室など男性を表わしているものと性別は関係ない人を表わすものがある。男は人間の表現になっている。

**行動する人**：歩いたり、走ったり、階段やエスカレーターやエレベーターで上り下りする人。車椅子の人。シャワーをあびる人など。

**スポーツする人**：球技、自転車、バーベル、乗馬、水泳、スキー、ダンスをする人。

**人たち**：2人以上の複数の人を表わすもの。

**顔**：前向きの顔、横向きの顔、2人以上の順。

**手**：手そのものと方向を指示、持ったり、握ったり、運動したり何かをしている手。負傷した手。

**内臓**：人間体内の臓器を表わしているもの。

**動物I**：動物園にいる野生動物と家庭で飼われている身近な小動物、家畜など。

**動物II**：空想動物と動物の前後を組み合わせることによって造られた動物。

**魚**：クジラ、イルカなど魚の形をした哺乳動物。エビ、タコ、貝類も含める。

**虫**：昆虫の他にカタツムリを含める。

**天体**：太陽、月、星、地球に加えて地図を含める。

**山・地**：山の他に地層、鉱石、宝石など。

**水**：水滴の形をした油などを含む。波、ゆげ、雪、虹など水の変化したものを含める。

**道具I**：身近かにあるナイフ、フォーク、鎌、ハサミ、クシと大工道具、メガネ、手袋、靴、傘、糸巻など。

**道具II**：運ぶ時に用いるカバン類、手押し車、ロッカー、クレーン、パッケージ類など。

**道具III**：スポーツ用具・用品、楽器。

**通信**：電話、郵便、信号など。

**設備**：消火栓、消火器、ガソリンポンプなど。

**文具**：図書、筆記用具、絵の具、タイプライター、パソコンなど。

**生活**：衣類、食品、家具、ドア、窓、家庭用品、ゲーム用品。

**矢印I**：方向を示す、行程を示す曲ったり折曲っているもの。

**矢印II**：2本以上の矢印と他のものとの構成。

**十字**：赤十字、緑十字、十字架。

**直線**：直線による三角、四角、多角、放射状の順。

**曲線**：円、回転、同心円、自由曲線の順。

**数字**：小さな数から大きな数へ。イニシャル貨幣記号を含む。

**ローマ字**：A、B、C順。バツ印はXに。!、?の記号も含む。

セット絵文字は交通、運送・通信、学校、医療、会社、機械、公園、催物、ホテル、文書、芸術、生活、広告の13項目に分類。

## 作品データー

各作品には(1)業種。(2)アートディレクター。(3)デザイナー。(4)クライアント(依頼者)。(5)制作年・制作地。(6)色のデーターを付記した。

### 1)業種

英語の作品票は“Category”としたがここにマークやロゴタイプなどの記述が多く、業種として理解されなかつたため業種が不明なものがかなりある。意味別に作品を選択できるように意味さくいん(15,16ページ)をつくった。

### 2)アートディレクター

応募者の作品票にしたがつてデーターを作成したためこの欄空白の場合は2)を記載していない。協同制作の同一作品を2者から出品された場合、両者のデーターを合せて記した。

### 3)デザイナー

少しであるが3)のないものがある。これは作品票の中にアートディレクターに名前があり、デザイナーが空白のもの。アートディレクターとデザイナーが同一人物の場合は2), 3)とし、デザイナーに他の人が加わる場合は2)と3)は別に記した。

### 4)クライアント

クライアント名は意味が分かるものはできるだけ日本語に置きかえたが略称の場合はそのままローマ字つづりを採用した。中には固有名詞のように意味のないものもあり、その場合は可能なかぎりカタカナ表記にした。

### 5)制作年・制作地

制作年は西暦で表記。制作年が2つあるものがあるがこれは協同制作者2人からの応募で制作年が異なる場合、その両方を記した。制作年の後にあるRはリ・デザイン年を表わす。\*は1970-83年以前のものでこの期間の作品に大きな影響を与えるなど集録する必要があると判断した作品。または以後の作品で集録したものにも\*をつけた。

制作地は作品票にはない項目であるが、どの地域で使用されているものかをある程度判断する目安になるので採用した。出品者の住所によって作成したもので個々の作品について正確さを欠くものもあるだろう。制作地は海外は下記の表のように誰でも知っている都市名あるいは国名とした。国内は都道府県名とした。

### 6)色

色名はできるだけ正確に表示するため色名の後に( )でメーカーと色番号を記した。メーカーは略称で記したものもありそれについては下記を参照されたい。また色名のないものは決定色がないもの。

PANTONE / PMS = パントン社(アメリカ)

DIC = 大日本インキ化学工業(東京)

TOYO CF = 東洋インキ製造(東京)など

制作地名一覧表

国 名	都 市 名	国 名	都 市 名	国 名	都 市 名	
ア メ リ カ	ワ シ ン ト ン ニ ュ ー ヨ ー ク シ カ ゴ サンフランシスコ ロスアンジェルス ボ ス ト ン ア ト ラ ン タ ニューオーリンズ	ス イ ス 西 ド イ ツ イ タ リ ア ス ペ イ ン ブ ラ ジ ル ポ ー ラ ン ド 東 ド イ ツ ア イ ル ラ ン ド アルゼンチン イ ラ ン オーストリア ス ウ ェ ー デン チエコスロバキア ブ ラ ハ デ ン マ ー ク	チ ュ ー リ ッ ヒ ジ ュ ネ ー ブ ボ ン ミ ュ ン ヘ ン フ ラ ン ク フ ル ト ハ ン ブ ル グ ロ ー マ ミ ラ ノ ナ ポ リ マ ド リ ー ド バ ル セ ロ ナ リ オ デ ジ ャ ネ イ ロ サ イ ラ ボ ー ラ ン ド 東 ド イ ツ ア イ ル ラ ン ド アルゼンチン イ ラ ン オーストリア ス ウ ェ ー デン チエコスロバキア ブ ラ ハ デ ン マ ー ク	ノ ル ウ ェ ー ハンガリー ベ ル ギ ー ユ ー ゴ ス ラ ピ ア ユ ー ゴ ス ラ ピ ア フィ ン ラ ン ド 台 湾 台 湾 フィ リ ピ ン ト ル コ マ イ ラ イ ス ラ エ ル ニ ュ ー ジ ー ラ ン ド ホ ン コ ン ブ エ ル ト リ コ コ ロ ン ビ ア ブ ル ガ リ ア ベ ネ ズ エ ラ 韓 国 ソ ウ ル メ キ シ コ イ ン ド	オ ス 口 ブ ダ ベ 斯 ト ブ リ ュ ッ セ ル ア ン ト ワ ー ブ ベ オ グ ラ ー ド ヘルシ ン キ タ イ ベ イ マ ニ ラ イ ス タ ン ブ ピ ル エ ル サ レ ム	
カ ナ ダ	オ タ ワ モ ン ト リ オ ー ル ト ロ ン ト					
イ ギ リ ス	ロ ン ド ン バ ー ミ ン ガ ム リ バ ブ ー ル マ ン チ ェ ス ト ー					
フ ラ ン ス	パ リ リ ヨ ン マ ル セ イ ユ					
オ ラ ン ダ	ハ ー グ ア ム 斯 テ ル ダ ム ロ ッ テ ル ダ ム					
ス イ ス	ベ ル ン					

## 絵文字の範囲とその表現

絵文字の形態はマークやシンボルや単純化されたイラストとよく似ている。絵文字は絵によって何か意味を伝える視覚言語である。絵文字の範囲を理解するため使用されている分野を上げてみる。

1) 交通 空港・駅・港・バスターミナルの案内。機内・車両内・船内の標識。道路標識。時刻表。観光地図。車・自転車の駐車場。自動車の運転操作など。

2) 運送・通信 パッケージの内容表示と扱い注意。電話器。ファクシミリの操作表示。郵便局と窓口表示など。

3) 教育 学校・研究所・図書館・美術館・博物館の案内。教科書や参考書の項目表示。産業・産物・事物表示地図。人口統系図。事典・辞書の項目表示。体操・ダンス・バトン教習表示など。

4) 医療 病院・診療所・療養所の案内。薬品の使用注意と説明など。

5) 会社 建物内の案内。工場内の危険防止と案内。事務機器の操作表示。生産台数表示。事務用ファイル表示など。

6) 公園 動植物園の案内。動植物分布図。広場・リゾート施設の案内。アスレチックの説明。ごみや缶入れ。犬のふん入れなど。

7) 偕物 オリンピック・体育大会・運動会の種目と案内。博覧会・展覧会・展示会の品目と案内。競技場・野球場の電光掲示板など。

8) ホテルなど ホテル・銀行・マーケット・商店ビルの業務と品目と案内など。

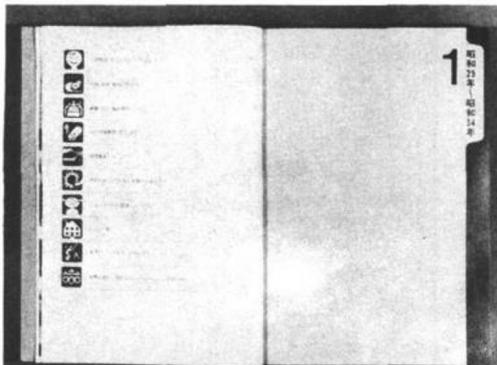
9) 生活 園芸用品・食品・ペット・ゲームなどの品目と扱い方と説明。洗濯機・音響機器などの電気製品操作表示。衣料品の洗濯表示。テレビや電光掲示板の天気予報。カメラ・フィルムの扱い方など。

10) 広告 新聞・雑誌の案内。業務・物件・施設内容表示。車内ポスター。電柱など。

11) 芸術 壁画。レリーフ。彫刻など。

絵文字の表現はマークやシンボル以上に自由になる。それは使われる場所や大きさにあまり変化がないこと。また表示のために使われる材質も限定されること。表示数が少なく、私的なものもあることなどの理由による。だからかならずしも単純で縮小しても明解な形を保つ必要はないといえる。

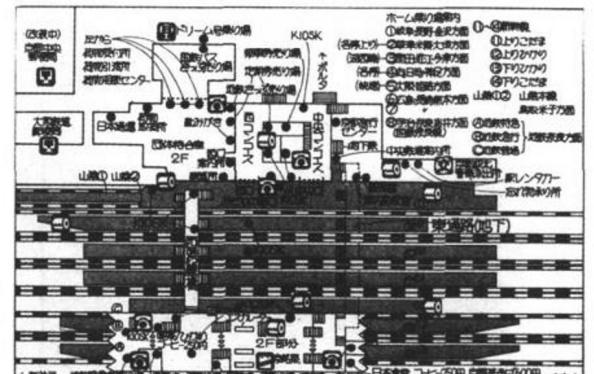
- |    |  |
|----|--|
| T1 | 1) 社内誌<br>2), 3) 杉山久仁彦<br>4) 文理書院<br>5) 1980 (東京)  |
| T2 | 1) ショッピングセンター<br>2), 3) 鳥越修治<br>4) 東急ストア<br>5) 1976 (東京)                                 |
| T3 | 1) 京都駅構内図<br>2) 石川照雄<br>3) 石川照雄+和田<br>4) アングル別冊No. 4<br>5) 1982 (神奈川)                    |
| T4 | 1) 都市計画のための図<br>2), 3) ルドビック・フェラー<br>4) ヨハネス・フェーザ (建築家)<br>5) 1971 (ベルリン)                |
| T5 | 1) 放置自転車整理区域<br>2) 福田正明<br>3) 水井正 + 福田成美 + 福田正明<br>4) 埼玉県<br>5) 1983 (埼玉)<br>6) 白地に赤 + 青 |
| T6 | 1) 芸術 (愛, 人生そして死)<br>2), 3) アドリアン・フルティゲル<br>4) オーサー<br>5) 1973 (フランス)<br>6) 黒            |



T1 記名の例



T2 誘導の例



T3 案内の例

## 絵文字が表わす種類と機能

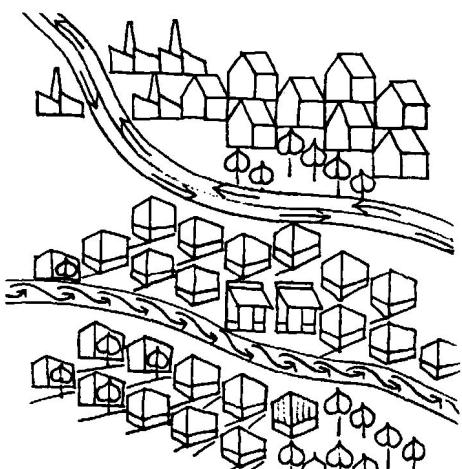
種類	機能	表示内容例	作品例（本書中モノクロ(M), カラー(C), セット(S)から）
記名	事物の名称や形態を示し他と識別させる	地名、車種、品名、項目、施設、種目、内容、業務、階・室名、棟名、店名、窓口名、動植物など	M1, M2, M4, M9, M21, M27, M33, M35, M39, M40, M42, M43, M44, C34, C36, C38, C58, C60, C66, C67, C69, C71, C72, C74, C75, C86, C98, C99, C100, C101, C102, C105, S3, S4, S5, S6, S12, S13, S21, S23, S24, S26, S27, S28, S29, S30, S35, S36, S41, S43, S49, S50, S52, S53, S54, S55, S61, S66, S69, S70, S74, S75, S77, S78, S79, S80, S81, S82, S83, S84, S85, S86, S88, S89, S91, S93, S110, S126, S127, S136, S142
誘導	目的事物への方向を示し行動をうながす	目的事物+方向 矢印、方向を指す手、線、文字など	C30, C31, C47, C48, C49, C51, C52, C53, C54, C56, C59, C61, C62, C63, C64, C103, C104
案内	事物の所在と相互関係の全体を示す	地域、全会場、全館、フロア、ルート、窓口など	C18, C28, C29, C50, C65, C113, C115
説明	事物の内容、扱い方を示す	施設、展示物、教育、由来、取扱い、操作	M41, C13, C22, C57, C70, C114, S34, S37, S65, S117
規制	安全や秩序を保つための行動をうながす	禁止…するな 警告…あり危険 注意…に気をつけよ 指示…せよ	M5, C83, S25
観賞	美的環境づくり	壁画、レリーフ、彫刻、動く彫刻	C1, C4, C13, C22, C32, C40, S123, S124, S125, S137, S138

\*建築学会編・建築設計資料集成10技術(サイン)1983を参考にした。

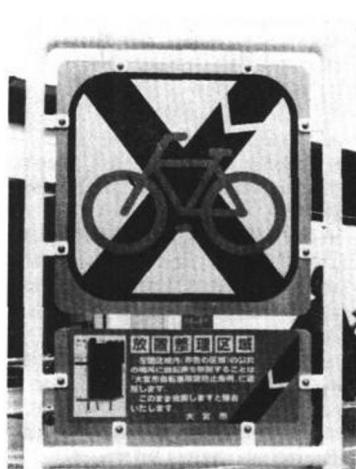
\*運作のものは代表番号にした。

\*2種類にわたるものもある。

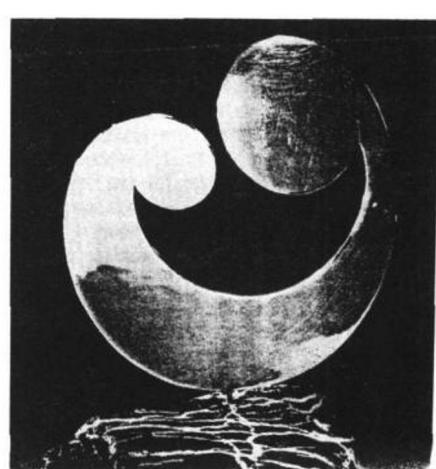
\*3種類(記名、誘導、規制など)にわたるものははぶいた。



T4 説明の例



T5 規制(禁止)の例



T6 観賞の例





